**教育長**　毎年、学校には作文や絵画、習字など多種多様な作品などの募集が来る。特に夏休み等、長期休業に焦点を当てた募集が多いが、年間を通して児童生徒が興味関心を持ったものや、或いは、これまでの学習内容と関連する募集や、発展的に取り組んでもらいたい内容を含んだものを学校側が、いくつか選んで児童生徒に示している。

その中で、毎年応募しているものが、犯罪や非行を防止し、明るい地域社会を築くために児童生徒が自ら考える「社会を明るくする運動」の作文である。

また、佐賀県学童美術展覧会には全校の児童生徒が応募している。

応募することで自分の考えや感情を、作品を通して表現する力を育むこと。応募する過程を通じて自己肯定感や達成感を得ること。想像力や問題解決能力を養うこと。審査などを通して客観的評価や新たな気づきを得ること。応募を通して地域や社会との関りを感じ取ることができることなどがあげられる。

これからも、児童生徒の興味関心を引き出し、そういった募集に取り組む児童生徒を支援していく学校づくりを継続していくように、教育委員会と学校とで連携して取り組んでいく。

## 地域防犯灯の更新について　三根　和之

**議員**　近年、防犯対策や交通安全のため、防犯灯や道路照明灯の重要性が高まっている。

①　本町における防犯灯及び照明灯の設置状況とＬＥＤ化の進捗状況について伺う。

②　老朽化した照明柱や防犯灯の点検・更新は、どのように取り組まれるのか。

③　自治会等が負担している維持管理費に対する支援の現状と今後の町の考えは。

**農林建設課長**　①　一つ目が道路交通の円滑化を図るため、道路を照らすことを目的とした道路照明灯で、町内に交差点を中心に１３６基設置している。二つ目が災害時などに避難所等への誘導を目的とした避難誘導灯で、町道中央線等７路線に１１８基設置している。三つ目が夜間に道路や住宅街を照らし、歩行者の安全や犯罪の抑止を目的とした防犯灯である。道路照明灯と避難誘導灯は町が設置管理している。防犯灯は、地区内の防犯対策として、自警、自助の観点から地区の判断で設置されていると位置付けており、電気料や電球交換等維持管理は、区で管理をしていただいている。

このうち、道路照明と避難誘導灯は、全てＬＥＤ化が完了している。防犯灯については、この10年間程度で新設したものは、ＬＥＤ仕様で設置している。それ以前に設置した蛍光灯タイプも多数残っている。

②　地区の防犯灯については、区で管理していただいている。２０２７年には、蛍光管が製造中止になるため、蛍光管の予備の確保をお願いするとともに、在庫がなくなった場合の本体の更新は、町で対応することを区長会で説明している。今後、各区で管理する防犯灯の位置や数、管理方法についても調査したい。

③　地区から要望による防犯灯の新設や修繕不可による本体の更新は、町で対応している。こうした状況に鑑み、維持管理については、引き続き区の方でお願いしたい。

## 八ツ江樋管の進捗状況について

**議員**　八ツ江樋管の整備については、いまだ未着工の状況となっている。

そこで、以下の点について伺う。

①　県管理河川末端部に位置する八ツ江樋管について、県はどのように整備を進めようとしているのか。

②　県との協議がどのように進んでいるのか、現在の進捗状況について。

③　樋管工事の着手予定時期及び今後の整備見通しについて。

**農林建設課長**　①　県の高良川についての見解は、『地元と協議を行い、江北町側への流失を防ぐよう最下流左岸側に護岸整備をした。また洪水時の河川の水位低減を図るため令和元年度、２年度、４年度に浚渫を実施し、今年度も下流部の浚渫を計画している。内水氾濫による浸水被害の低減に向けては、河川による対策だけではなく、流域全体で総合的に浸水対策を考え、取り組みを推進していくことが重要である。大町町・江北町・県も参画した「大町東部地区流域治水対策に係る実務者会議」が設置されており、ため池の活用やクリークの活用なども含め、流域治水対策として高良川の特性に合った効果的な浸水被害の低減に向けた取り組みについて、連携して協議していきたい。』との回答を得ている。

②　本町では、議員にも参画いただき、令和４年７月28日に、佐賀県知事宛、県土整備部長宛、杵藤土木事務所長宛

▲高良川八ツ江樋管